

## 平成30年度 学校評価アンケート(保護者・生徒・職員)からの考察

### 全体的に見て

生徒・保護者・職員の集計から

- ・高い数値を示している同様の項目が、ほぼ同じ傾向にある。
- ・低い数値を示している同様の項目が、ほぼ同じ傾向にある。

昨年と比較して、全体的には大きな変化はないが、体育祭の実施内容を変更したことが影響してか、学校行事の取り組みを問う質問に対して、生徒は10パーセント保護者は5パーセント程度(4と3)の低下がみられる。

職員については評価4と3を合わせて70パーセント以上の項目が33問中26項目あり、先生自身及び生徒への指導に前向きに取り組んでいただいていると評価できると思います。

- 部活動に関する取組は3者とも共通で、良く取り組んでいる。
- 学校行事への取り組みも共通である。
- 委員会活動・係活動についても、3者ともよく取り組んでいる。
- 授業や学習面での数値が低いことは、今後も課題として継続して受け止めていきたい。

職員と生徒は約80%(4と3)が熱心に学習指導し、教科指導に取り組んでいると答えているにもかかわらず保護者は4の評価が15%程度で4と3で70%にとどまっている。この差を少しずつでも埋められるよう、授業研究、研修、授業改善に取り組んでいきたい。

●マナーについては、克服されていない一面も読み取れるが、自転車の乗り方など地域民生委員などからは向上しているという声も聞こえてきている。

今後、学校経営方針などに強化すべき項目を掲げ、職員から意識改革・指導力の向上を図り、地域・PTAと協力して、具体的に取り組まなくてはならないと考える。長年の課題で終わることなく、3者が実感できるように、一つ一つを丁寧に大切に組みたい。

### 小中連携・小小連携

(共通の指導・規律)  
(学習規律・生活指導)  
(部活動指導)  
(合同研修)

- ・登下校のマナー → 下校指導・ひまわり運動・校外ボランティア活動(花配りボランティア)
- ・挨拶、返事、言葉遣い → 生徒会活動・部活動指導(挨拶返事)・授業規律の見直し・新入生オリエンテーションでの確認・定着(手賀の丘自然の家宿泊研修)
- ・学力 → 授業規律・教職員のスキルアップ(研究授業)・授業観察など家庭学習の定着など・定期テスト前学習会